

議会だよりは市民の皆さんと議会をつなぐ「かけはし」です  
ぜひ御一読を



かつなりくん

# かりや

あなたとともに



つなげよう未来の刈谷へ  
刈谷市制施行70周年

# 市議会

# だより

〈第154号〉

～刈谷市議会は、議会基本条例に基づき、「市民に開かれた議会」・「市民に信頼される議会」を目指して議会活性化に取り組んでいます～



## つなげよう未来の刈谷へ

「日本一安心安全なまち刈谷」の実現を目指して

(関連2、3ページ)

### 令和2年度予算を可決 総額約944億円

主な記事	ページ
2年度予算	2～3
主な議案	4
委員会の動き	4～5
議決結果	5
質問・質疑	6～8

### 3月定例会のあらまし

この定例会は2月13日に招集され、会期35日間で3月18日に閉会しました。今回は議案など31件が提出されました。

主な議案は、令和2年度予算についてや、刈谷市消防団条例の一部改正についてなどです。

◆2月13日 本会議

(施政方針、議案説明など)

市長から令和2年度施政方針と提出した議案の大綱についての説明があり、続いて教育長から令和2年度教育行政方針が述べられました。

次に、報告議案2議案を了承した後、公平委員会委員の選任について同意しました。

次に、刈谷市債権管理条例の制定についてなど12議案、令和元年度補正予算関係4議案、令和2年度予算関係8議案の説明を受け、関係する委員会で審査することとしました。

◆2月26日～28日

本会議(質問・質疑など) 20人の議員が44項目にわたり、一般質問と令和2年度予算の質疑を行いました。

### 3月定例会での傍聴者は延べ69人です。

◆28日 予算審査特別委員会  
予算議案は分科会を設置して審査することとしました。

◆3月4日～6日・9日  
委員会、分科会

議案が審査され、委員会や分科会での採決が行われました。

◆17日 予算審査特別委員会  
分科会での審査の経過と結果が報告され、予算議案の採決が行われました。

◆18日 本会議(採決)  
各委員長から、委員会での審査の経過と結果が報告されました。一部の議案について、反対意見がありました。採決の結果、議案は全て原案のとおり可決されました。

次に、追加議案及び議員提出議案の計4議案が追加上程され、原案のとおり了承及び可決されました。

3月定例会での傍聴者は延べ69人です。

### ★傍聴をお待ちしています★

\* 6月定例会の開催予定 \*

- 5月29日(金) 議会運営委員会(運営を協議)
- 6月10日(水) 本会議(開会、一般質問など)
- 11日(木) 本会議(一般質問など)
- 12日(金) 本会議(一般質問、議案説明など)
- 12日(金) 予算審査特別委員会
- 6月16日(火) 企画総務委員会
- 17日(水) 福祉産業委員会
- 18日(木) 建設委員会
- 19日(金) 市民文教委員会
- 25日(木) 予算審査特別委員会
- 議会運営委員会(運営を協議)
- 26日(金) 本会議(委員長報告・採決など)

各会議は10時から17時まで(進行状況などにより、変更する場合があります)。傍聴の際は、当日次の受付へ。

- 本会議：市役所10階、傍聴受付
- 委員会：市役所9階、議会事務局受付
- 託児を希望される方へ(生後6か月以上の未就学児、先着順)  
臨時保育室「カンガールーム」を御利用いただけます。傍聴希望日の1週間前までに議会事務局まで御連絡ください。
- 手話通訳・要約筆記を希望される方へ  
傍聴希望日の1週間前までに議会事務局まで御連絡ください。
- 一般質問KATCH放送(地上デジタル11チャンネル)  
6月18日(木)、22日(月)、24日(水)でいずれも18時から。詳しくはチャンネルガイドを御覧ください。

\*カンガールームの募集期限を3日前から1週間前に変更させていただきます。御迷惑をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。



※QRコードはデンソーウェブの登録商標です



# 令和2年度予算関係

## 本会議での質疑

質問・質疑では、市政の方針などを問いました。

本会議での質問・質疑については、6～8ページの「質問・質疑」を御覧ください。

## 委員会・分科会・本会議

質問・質疑終了後、予算審査特別委員会を経て各分科会で審査されました。

3月17日に開催された予算審査特別委員会では、各分科会での審査の経過と結果が報告され、一般会計、国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険の各特別会計、水道事業会計の計5議案に反対の意見がありました。採決の結果、賛成多数によりいずれも原案のとおり可決されました。

18日の本会議では、予算審査特別委員会の報告を受け、討論が行われました。

討論では、マイナンバー制度に反対の立場であること、刈谷城築城に関する予算が含まれていること、国民健康保険税が協会けんぽと比較すると非常に高いこと、後期高齢者医療制度を廃止し、元の老人保健制度に戻すべきと考える立場であること、介護保険制度について、国の段階で抜本的な改革が必要と考える立場であること、水道料金に消費税増税分が含まれていることなどにより反対との意見が出されましたが、採決の結果、議案はいずれも原案のとおり可決されました。

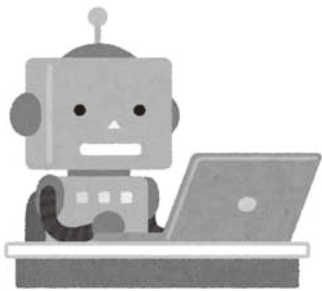
### 〔分科会での主な質疑〕

#### ■企画総務

#### ICT活用推進事業

**問** ICTを活用した業務改善や働き方改革の必要性をどのように考えているか。

**答** 令和2年度にRPA等を導入する予定である。なお、RPA等を効果的・効率的に活用するためには、その特性を十分に理解するとともに、それを活用する職場のニーズや課題を把握した上で導入を進める必要があると考えており、令和元年度は、調査研究を行っている。このほか、平成31年1月に愛知県と県内市町村で構成する「あいちAI・ロボティクス連携共同研究会」が設置され、県内市町村によるAI、ロボティクスを活用したシステムの共同での導入や利用に関する事項について検討している。



ICTを活用し効率化を図ります

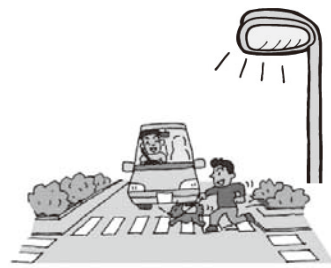
#### 交通安全施設整備事業

**問** どのようなタイプの照明を何か所設置するのか。

**答** 現在設置している照明と同様に、暗くなるとセンサーが感知し、自動で点灯するタイプの照明を、令和2年度はゾーン30内を現地調査の上、必要な箇所に設置予定である。

**問** 点滅式の一時停止標識を増やしていくべきだと思うが市の見解は。

**答** 視認性が向上するため、交通安全対策に有効であると考えているが、設置については警察が判断している。状況に応じて危険箇所の対策として設置を働きかけていく。



歩行者を認識しづらい横断歩道付近に安全灯を設置

#### ■福祉産業

#### 特別養護老人ホーム等整備事業

**問** 今回の整備助成事業、支援事業の金額が大きいですが、今後の県補助金の継続の可能性は。

**答** 県に確認したところ、国は令和7年を見据えて制度設計を行っているため、当面の間は継続されることである。また、補助単価は県の補助要綱に基づき、整備するサービス事業所の種類によって定められている。今回整備する事業所は入所施設であり、建築規模も大きいため、補助単価も高く設定されていると思われる。



令和3年4月開設予定 特別養護老人ホーム パレット

#### ■清掃センター移転新築事業

**問** 令和2年度からの2か年の継続事業としているが、スケジュールはどのようになっているのか。

**答** 令和2年度は主に、土地の造成から上屋の建設工事までを予定し、令和3年度については、建物の外装や内装、外構工事をおおむね6月をめどに完了する予定で、その後に事務所機能の移転を行う。

**問** 移転時の業務への影響は。

**答** 窓口業務やごみ収集等の業務を止めることはせず、市民生活に支障がないようにする。



環境センターとの効率的な管理運営を図る

#### ■建設

#### わが家の地震対策事業

**問** 拡充される予算の内容は。

**答** 市内のブロック塀等に対する点検業務委託に関するものである。地区に協力をいただき調査したところ、現在、市内にブロック塀等は約4,600件ある。点検については、建築課職員が市内全域を行っているが、1年3か月の間で実施できたのは、約700件となっており、終了までに長期間を要することから、早期に点検を終了するため、委託業務の予算を拡充するものである。

**問** 危険なブロック塀等の所有者に対して、どのように対処していくのか。

**答** 建築物に附属する塀など

#### ■空家等対策推進事業

については建築基準法が適用されるため、塀の所有者や占有者などに対し、適法な状態になるように指導や命令など、必要な措置を行うことになる。

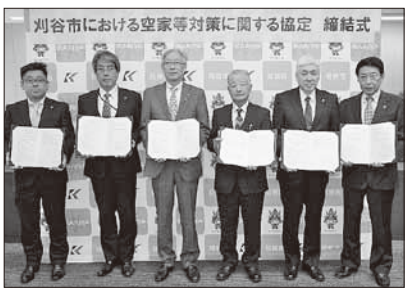


ブロック塀等の倒壊を防ぎ 通行者の安全と避難経路を確保

#### 空家等対策推進事業

**問** 令和元年度に実施した実態調査による空家等の数は。

**答** 平成28年度の実態調査で把握した377件のうち、引き続き空家等のままであったものが189件、また今回新たに空家等と判明したものが102件あり、合わせて空家等の件数は291件である。



空家等対策で県司法書士会など関係5団体と協定締結 (令和元年11月29日)

#### ■市民文教

#### 慈友保育園大規模改造事業

**問** ゼロ歳から2歳までの乳児園になることに関する園舎の建て替えなのか。

**答** 公共施設維持保全計画に基づき、老朽化した園舎や設備の改修を行うもので、乳児園への移行とは直接関係はない。設計の段階で乳児園への移行が決

定していたため、例えば床暖房などの必要となる設備は設計に反映している。



子供たちが安心して過ごせる環境づくりを

#### 誕生祝い事業

**問** 事業の目的及び事業化に至った経緯は。

**答** 定住促進として、刈谷への愛着を育んでいただくきっかけとなるよう、新たに市民となる子供の誕生をお祝いするものである。経緯については、市制施行65周年記念事業として平成27年度から結婚祝い事業を実施しているが、さらに本市の魅力を高めるため、市制施行70周年を機会に本事業を実施するものである。

**問** 事業費の内訳と、平成30年度の出生届の件数は。

**答** 経費としては、刈谷市民として生まれた子供へプレゼントする記念品1,800個を購入するものである。また、平成30年度の住民基本台帳法による出生届の件数は、1,584件である。



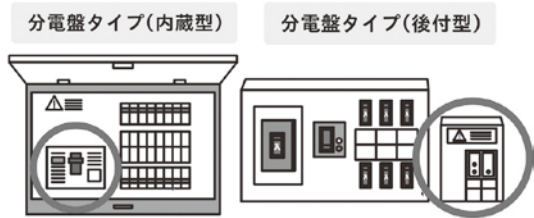
健やかに育つことを願って



# 令和2年度予算に見る主要事業

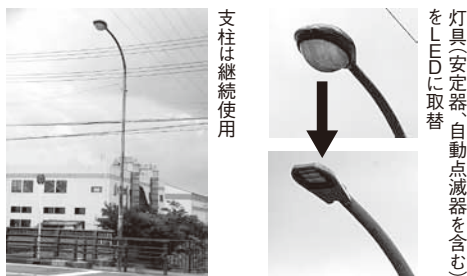
## 守ろう！～安心安全と健康～

◆大規模地震時の電気火災の抑制と被害の軽減を図るため、感震ブレーカーの設置費用を補助。



日頃から備えて家も命も守りましょう

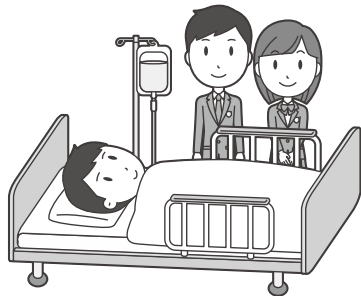
◆道路安全灯・園内灯をLED灯具に取り替え、維持管理経費及び環境負担の軽減等を図るとともに、安全性を確保。



歩行者等の交通事故防止と環境負担軽減

## 育てよう！～子どもと未来～

◆医療費負担の軽減及び子供の福祉増進を図るため、入院に係る子ども医療費の支給対象者を高校生等まで拡大。



安心して医療を受けられる環境に

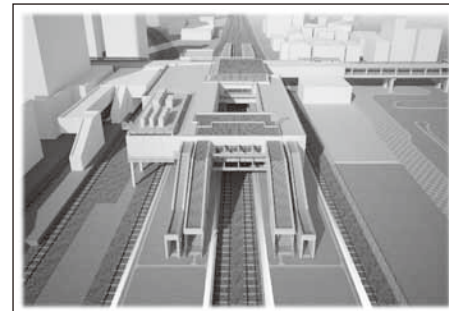
◆市役所と市民交流センターの共用駐車場である市役所第2駐車場を立体駐車場として整備し、駐車場不足を解消。



駐車場不足を解消(イメージパース)

## 輝こう！～暮らしと仕事～

◆JR刈谷駅のホーム等の混雑を解消し、安全性の確保及び利便性の向上を図るため、JR刈谷駅の改良を行う東海旅客鉄道株式会社へ補助。



JR刈谷駅改良イメージパース

◆岩ヶ池公園利用者の安全確保と主要地方道名古屋岡崎線の交通渋滞の緩和を図るため、駐車場と公園をつなぐ横断歩道橋を整備。



岩ヶ池公園に歩道橋を整備して利便性向上

## 市制施行70周年記念事業

◆男女共同参画社会の実現に向けた国内最大級の会議である「日本女性会議2020あいち刈谷」を開催。



プレ大会「あなたとわたしのハーモニー2019」

◆NHK名古屋放送局と刈谷市の共催により、NHK公開番組「のど自慢」を開催。



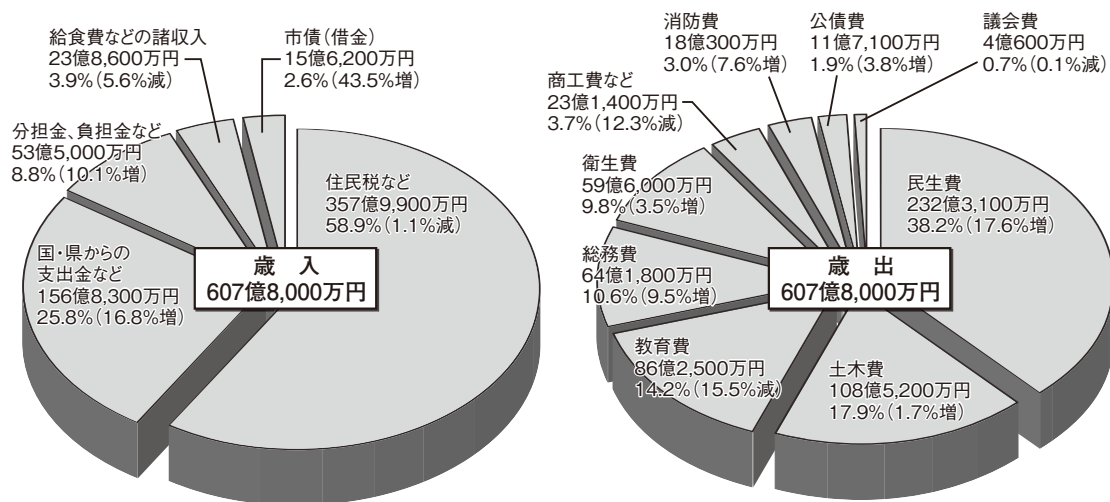
テーマは、「歌で思いを届ける」

◆市民団体などが市制施行70周年を記念した事業として、市内で自主的に行う公益的なまちづくり活動の経費を支援。



コラボ70補助金公開審査会の様子

## 一般会計の内訳 ( )内は対前年度比



〈国・県からの支出金などの内訳〉 国庫支出金、県支出金、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、環境性能割交付金、地方特例交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金  
〈分担金、負担金などの内訳〉 分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金  
〈商工費などの内訳〉 労働費、農林水産業費、商工費、災害復旧費、諸支出金、予備費

## 2年度予算の総額

会計名	本年度	前年度比較	伸び率
予算総額	944億4,500万円	24億3,100万円	2.6%
一般会計	607億8,000万円	26億8,000万円	4.6%
特別会計	240億1,300万円	1,800万円	0.1%
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業	12億9,600万円	4,600万円	3.7%
刈谷野田北部土地区画整理事業	1億3,900万円	1,900万円	15.6%
国民健康保険	117億2,700万円	▲2億2,900万円	▲1.9%
後期高齢者医療	19億3,500万円	3,000万円	1.6%
介護保険	89億1,600万円	1億5,200万円	1.7%
企業会計	96億5,100万円	▲2億6,700万円	▲2.7%
水道事業	41億5,200万円	2億6,600万円	6.8%
下水道事業	54億9,900万円	▲5億3,300万円	▲8.8%

※百万円単位で四捨五入しています  
※詳しくは、市ホームページの「予算のあらまし」を御覧ください



# 主な議案

## 3月定例会 (要約して掲載しています)

### 単行議案

### 条例議案

#### ■財産の無償貸付けについて

病院関連施設敷地として、医療法人豊田会に無償で土地の貸付けを行います。

#### ■刈谷市債権管理条例の制定について

市の債権のより適正な管理を図るため、条例を制定します。

#### ■刈谷市債権管理条例の制定について

市の債権の中には、債務者の所在が不明で回収できる見込みがないまま時効期間満了後も管理を続けているケースや、強制執行に至るまでに長い期間や徴収すべき債権の額以上の経費が必要となるケースがある。また、生活困窮や無資力等の状態にある債務者に対して債権放棄すること、結果としてその生活再建の一助となることなどもあり、放棄に関する規定を定め、債権管理の適正化や事務の効率化を図るために条例を制定するものである。

刈谷市債権管理条例の制定について、債権管理の適正化や事務の効率化を図るために条例を制定するものである。

刈谷市債権管理条例の制定について、債権管理の適正化や事務の効率化を図るために条例を制定するものである。

刈谷市債権管理条例の制定について、債権管理の適正化や事務の効率化を図るために条例を制定するものである。

刈谷市債権管理条例の制定について、債権管理の適正化や事務の効率化を図るために条例を制定するものである。

#### ■公平委員会委員の選任について

令和2年3月31日で任期満了となるので、再び選任することに同意しました。(任期4年)

はやかわ たかあき  
**早川 孝昭 氏**  
(4期目)  
高松町

公平委員会とは・・・  
地方公共団体職員利益の保障と公正な人事権の行使を保障するために置かれる機関です。

#### ■刈谷市消防団条例の一部改正について

消防団員の処遇改善を図るため、消防団員の報酬年額を増額します。

#### ■刈谷市消防団条例の一部改正について

今回の見直しで、団長から消防員まで7区分あるなかで、なぜ4区分の役割だけ報酬を引き上げたのか。また、何を目安に引き上げたのか。

#### ■刈谷市消防団条例の一部改正について

県内の人口規模や産業構造が類似している安城市、小牧市、豊川市の平均額を参考に算出しており、平均額を下回っている区分について改正している。

#### ■刈谷市消防団条例の一部改正について

前回の消防団員報酬の見直しはいつ行われたのか。  
平成20年4月に、部長、班長、消防員の報酬額の見直しを行っている。



刈谷を守る消防団員の処遇を改善

#### ■刈谷市営住宅管理条例及び刈谷市特定公共賃貸住宅条例の一部改正について

入居の手続において入居決定者が提出する請書について、連帯保証人2人の連署を不要とします。

#### ■刈谷市営住宅管理条例及び刈谷市特定公共賃貸住宅条例の一部改正について

連帯保証人の要件廃止に至るまでの背景及び民法改正の内容は。

建物の賃貸借契約に係る保証人など個人根保証契約を締結する場合は、これまで保証する額に制限がなかったものが、改正法の施行日後は、極度額を定めなければ、その効力が生じなくなることから、公営住宅における保証人制度の在り方についても検討する必要がある。本市においても近年、保証人が確保できないために入居を断念するといったケースも発生しており、こうした状況を解消するため、連帯保証人の要件を廃止することとした。

#### ■刈谷市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

放課後児童支援員の基準を改正します。

#### ■刈谷市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

国の基準が従うべき基準から参酌すべき基準となったことと、市の基準が後退したという点か。

#### ■刈谷市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

国が基準の中で規定している放課後児童支援員の資格と人数について、今後は参酌して対応するという方法もあるが、基本的には従来どおりの基準を適用していく考えである。



下重原住宅

この考えに基づき、これまでの国の基準の経過措置で対応していた部分のみ、今後も適用するための条例改正であり、この改正により、本市の基準を変更するものではない。

#### 補正予算議案

全議員で構成する予算審査特別委員会を経て、企画総務、福祉産業、建設、市民文教の各分科会で審査されました。

3月17日に再度予算審査特別委員会を開催し、各分科会での審査結果について、各分科会委員長から報告を受け、18日の本会議においていずれも原案のとおり可決されました。

また、小学校及び中学校の特別教室等の空調設備整備事業などが本会議最終日に上程され原案のとおり可決されました。

補正後の額(一般会計)  
23億1,142万7千円  
補正後の予算(一般会計)  
611億3,800万9千円  
補正後の予算総額(全会計)  
953億1,156万1千円

【主な事業】  
富士松中学校大規模改造事業  
老朽化した校舎の機能を回復させるとともに、生徒の教育環境の向上を図ります。



改修する富士松中学校

- ・市民の方等から貴重な御寄附をいただきました。補正予算に計上し活用させていただきます。
- ・総務管理事業費として  
4万3千円
- ・心身障害者福祉事業費として  
5万5千円
- ・高齢者福祉施設事業費として  
17万5千円
- ・公園事業費として  
252万2千円

#### 委員会の動き

委員会では、議案の審査のほか、主に次のことについて、質問などがありました。

#### 企画総務委員会

トイレレラーの派遣  
台風15号の際に千葉県君津市にトイレレラーを派遣でき、台風19号の際に派遣できなかった理由は何か。

台風19号の際は、日本女性会議の開催地であった栃木県佐野市に打診したが、現地の受け入れ態勢が整わなかったため、派遣には至らなかった。また、派遣意向を確認するなかで他市町村への派遣にも至らなかった。

支援する側としてはどのような課題があるのか。  
今後は、導入自治体を増やして派遣体制を強化するとともに、この取組を全国に周知していくことが課題である。

#### 福祉産業委員会

第4次刈谷市地域福祉計画  
第3次計画の基本目標値の達成度はどうか。  
4つの基本目標に対する成果指標9項目のうち4項目で目標値を達成し、5項目で数値の上昇があった。

第4次計画のポイントは。  
基本目標を「地域福祉の意識づくり・担い手づくり」「支え合いのしくみづくり」「安心・安全な福祉のまちづくり」の3つとして策定し、「地域共生社会」の実現を目指して、各種施策に取り組む。

その他「新型コロナウィルス」「デイサービスセンターたんぼ」などがありました。

### 議決結果一覧表

・損害賠償の額を定める専決処分について	了承	（※）：賛否が分かれたもの
・刈谷市土地開発公社事業計画等について	了承	
・公平委員会委員の選任について	同意	全て可決
【企画総務委員会関係・3議案】		
・刈谷市債権管理条例の制定について		可決
・議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について		
【福祉産業委員会関係・1議案】		可決
・財産の無償貸付けについて		
【建設委員会関係・5議案】		全て可決
・市道路線の認定及び変更について		
・刈谷市手数料条例の一部改正について		全て可決
・刈谷市営住宅管理条例及び刈谷市特定公共賃貸住宅条例の一部改正について		
・西三河都市計画事業刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業施行条例及び西三河都市計画事業刈谷野田北部土地区画整理事業施行条例の一部改正について		全て可決
・刈谷市下水道事業の設置等に関する条例及び刈谷市水道事業の設置等に関する条例の一部改正について		
【市民文教委員会関係・3議案】		全て可決
・刈谷市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について		
・刈谷市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について		全て可決
・刈谷市報酬額及び費用弁償額並びにその支給方法に関する条例の一部改正について		
【予算審査特別委員会関係・12議案】		全て可決
（令和元年度補正予算）		
・刈谷市一般会計補正予算（第4号）（※）		全て可決
・刈谷市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）		
・刈谷市介護保険特別会計補正予算（第4号）		全て可決
・刈谷市下水道事業会計補正予算（第3号）		
（令和2年度予算）		全て可決
・刈谷市一般会計予算（※）		
・刈谷市刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業特別会計予算		全て可決
・刈谷市刈谷野田北部土地区画整理事業特別会計予算		
・刈谷市国民健康保険特別会計予算（※）		全て可決
・刈谷市後期高齢者医療特別会計予算（※）		
・刈谷市介護保険特別会計予算（※）		全て可決
・刈谷市水道事業会計予算（※）		
・刈谷市下水道事業会計予算		全て可決
【追加議案・2議案】		
・工事請負契約の額を変更する専決処分について	了承	全て可決
・令和元年度刈谷市一般会計補正予算（第5号）	可決	
【議員提出議案・2議案】		全て可決
・刈谷市議会議員の議員報酬等の特例に関する条例の一部改正について		
・刈谷市議会会議規則の一部改正について		

## 3月定例会提出議案の賛否

賛否が分かれたものについて掲載します。（○：賛成 ×：反対）

議案名及び議決結果	会派名及び議員名	自民クラブ					市民クラブ					公明クラブ		清風クラブ		無所属の会		日本共産党		にしろの会		無所属		議長	副議長			
		加藤 幹樹	揚張 慎一	葛原 祐季	近藤 澄男	渡邊 妙美	鈴木 正人	清水 俊安	外山 鉦一	深谷 英貴	中嶋 祥元	佐原 充恭	伊藤 幸弘	黒川 智明	鈴木 浩二	谷口 睦生	松永 寿	白土美恵子	上田 昌哉	星海 真規	星野 雅春	鈴木 絹男	蜂須賀信明	牛田 清博	山本シモ子	城内 志津	稲垣 雅弘	山崎 高晴
令和元年度刈谷市一般会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度	刈谷市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	刈谷市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	刈谷市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	刈谷市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
刈谷市水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

### 建設委員会

刈谷市バリアフリー基本構想の改定

【問】各調査における意見を反映した取組は。

【答】JR刈谷駅においては、令和2年度からホームの拡幅、ホームドアの設置、エスカレーター増設、改札の増設などを行う。併せて、駅構内のトイレを洋式化するとともに、オストメイト用設備や乳幼児連れに対応したトイレを増設する。また、南北連絡通路や駅前広場においては、階段の手すりへの点字シートの設置や誰もが見やすい案内サインの検討を行っている。

【問】その他「新型コロナウイルス」「野田新町駅前の高度利用」などがありました。

### 市民文教委員会

第2期刈谷市子ども・子育て支援事業計画

【問】基本目標の「放課後児童クラブの充実」には、祝日の開設も含まれるのか。

【答】祝日における放課後児童クラブの利用希望があることは認識しており、放課後児童クラブの充実に向けた課題として捉えている。祝日に開設する場合は、土曜日や長期休業期間のように、午前7時30分から午後7時までの支援員の配置が新たに必要となる。各児童クラブに配置する支援員の確保は常に課題となっていることも踏まえ、今後も支援員の確保に努めつつ、祝日の開設について検討していく。

【問】その他「新型コロナウイルス感染症対策における自主登校教室」などがありました。



# 質問・質疑

## 市政のこころを問う

この定例会では2月26日から28日までの3日間で、20人が登壇し、44項目にわたり、市政について質問・質疑が行われました。主な項目について要約し、掲載します。

### 質問・質疑項目（発言順）

（※）…掲載した項目

- 鈴木 浩二 議員 ※1 刈谷市国際化・多文化共生推進計画について
- 牛田 清博 議員 ※1 刈谷城建設の白紙撤回について
- ※2 市民の「自治する文化」を育むことについて
- ※3 刈谷市の新型コロナウイルス対応について
- ※4 市道2-485号線他道路新設改良事業について
- 新海 真規 議員 1 刈谷市の感染症対策（新型コロナウイルス）について
- 2 避難所マンホールトイレ整備事業について
- 3 災害対策管理事業について
- ※4 感震ブレーカー設置費補助事業について
- 蜂須賀 信明 議員 1 刈谷市食育推進計画について
- ※2 学校給食について
- ※3 就学前の子供への食育の推進について
- 谷口 睦生 議員 1 小中学校のICT環境整備の推進について
- 上田 昌哉 議員 ※1 刈谷市の近未来について
- 2 刈谷市の農業について
- 清水 俊安 議員 1 施政方針について
- ※2 教育行政方針について
- 加藤 幹樹 議員 1 公園管理について
- ※2 地区駐車場設置事業補助制度について
- 渡邊 妙美 議員 ※1 「地域で暮らす」について
- ※2 小中学校で支援を必要とする子どもへの対応について
- 城内 志津 議員 1 児童生徒を尊重した制服・標準服のあり方について
- ※2 学校におけるLGBT施策について
- ※3 郷土愛が育まれるまちづくりについて
- 伊藤 幸弘 議員 1 施政方針について
- ※2 教育行政方針について
- 外山 鉦一 議員 ※1 刈谷市一般廃棄物処理基本計画について
- ※2 キヤッシュレス納税環境の整備推進について
- ※3 マイナンバーカードの普及について
- 葛原 祐季 議員

質問・答弁がホームページから映像で御覧になれます。「刈谷市議会」で検索し、「議会映像を見る」をクリックしてください。



### 鈴木 浩二 議員

#### 第2次刈谷市国際化・多文化共生推進計画の実行性ある計画に

—社会情勢にも十分に留意し、第2次計画の策定に努める—

**問** 外国人の現状等をどのように第2次計画へ反映するのか。  
**答** 現在の刈谷市国際化・多文化共生推進計画は、令和3年度に終期を迎えるため、令和2年度に市内在住の日本人及び外国人の市民を対象としたアンケート調査を実施する。アンケート結果と社会情勢を踏まえて、第2次計画を策定していく。

### 牛田 清博 議員

#### 「ジェンダー平等」で市民参画の推進をすべき

—ミライク会議開催に向けて男女共同参画を推進していく—

**問** ジェンダー平等とは、個人の尊厳が守られ公平で公正な社会を目指すことである。実行委員会では、市民が参加し、男女共同参画が活発に進められているが、さらなる推進を求めている。  
**答** 多くの市民や各団体等が参画し、多様性が尊重される社会を目指し会議を進めていく。



「かけがえのない」一人一人が大切にされる社会へ（ワークショップ）

**問** 刈谷藩の歴史や消費税、新型コロナウイルスによる経済状況から、刈谷城築城は白紙撤回し、市民の福祉を充実すべき。  
**答** まちづくりにおいて重要な事業として今後も重点的に取り組む。

### 新海 真規 議員

#### 感震ブレーカー設置費補助事業の内容は

—購入及び設置の費用に、上限2万円の補助を行う—

**問** 令和2年度から感震ブレーカー設置費補助事業が事業化される。これについては、平成28年9月定例会で要望しており、事業化を高く評価する。事業の詳細はどうか。  
**答** 補助対象の感震ブレーカーは、分電盤に設置し、一定の揺れを感じた際に電気供給をストップするだけでなく、地震に伴う停電の場合も、電気供給再開に伴う火災を防止するために、電源が落ちるようになっていく機能と、日本配線システム工業会の規格に定める構造及び機能を有するものとしている。補助対象経費は、感震ブレーカーの購入及び設置に要する費用で補助率は2分の1、補助金の上限は2万円である。

### 蜂須賀 信明 議員

#### 学校給食の残食を減らすための対策を

—自主的に完食を目指す活動に取り組んでいる—

**問** 給食で栄養バランスのとれた豊かな食事を提供することにより、健康の保持増進や体力の向上が図られるが、残食率とその対策は。  
**答** 平成30年度の実績で、小学校は年間約50トンで、全体の6.7%、中学校は約14トンで、3.3%である。残食を減らすため、給食時間に音楽を流して

### 谷口 睦生 議員

#### 小中学校におけるICT環境の早期整備を

—具体的な活用方法や運用ルールを研究し、実現を目指す—

**問** 国が進める「GIGAスクール構想」とは。  
**答** AIに代替されない創造性を育む学習環境を整備するため、児童生徒向けに一人一台の学習用端末と通信ネットワークを整備する構想である。

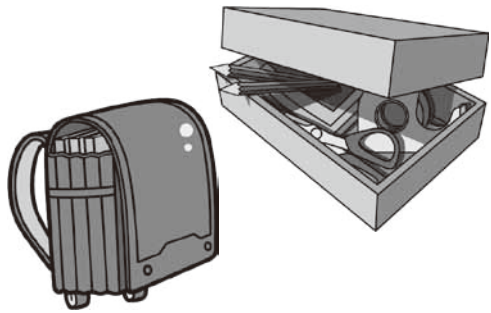
**問** 本市の学習用端末の整備状況と構想実現のための取組は。  
**答** 全小中学校の各学校に41

### 上田 昌哉 議員

#### 就学援助における新入学児童生徒学用品費のさらなる拡充を

—新1年生の不安を少しでも解消できるよう適切な援助に努める—

**問** 就学援助として支給を受ける新入学児童生徒学用品費の過去5年間における単価の推移はどうか。  
**答** 小学校新1年生が平成27年度は2万4700円、29、30年度は4万6000円、31年度は5万6000円となり、中学校新1年生が平成27、28年度は2万3、5500円、29、30年度は4万7、400円、31年度は5万7、400円と推移している。



安心して学用品をそろえられるよう支援

**問** 新入学児童学用品費の支援について、今後の見通しは。  
**答** 今後は、経済的な理由でお困りの保護者の就学に必要な費用の負担軽減を図り、前向きな気持ちで新学期を迎えられるように、適切な援助に努めていく。



山本 シモ子 議員

1 2020年度(令和2年度) 予算案について

2 市長の施政方針について

※3 教育長の教育行政方針について

白土 美恵子 議員

※1 令和2年度施政方針について

2 令和2年度教育行政方針について

鈴木 絹男 議員

※1 あいちスタートアップ戦略について

2 刈谷市総合文化センターの運営について

星野 雅春 議員

1 施政方針について

2 教育行政方針について

※3 令和2年度予算案について

中嶋 祥元 議員

※1 持続可能なまちづくりについて

2 人材育成(学校教育)について

深谷 英貴 議員

※1 自転車の交通安全対策について

稲垣 雅弘 議員

※1 「元氣・笑顔・希望のまちづくり」に向けて

清水 俊安 議員

人づくりに込める思いを

—子供たちの頑張りや成長のすばらしさを伝え伸ばしていきたい—

問 令和2年度の教育行政方針で述べられた「人づくり」という言葉に大変感動した。その言葉に込められた教育長の思いは。

答 これからの社会はICT化が進み、個人で活動することが多くなり、人との関わり合いが希薄になると考える。そのようなかで、子供たちは周りの

問 地区駐車場設置事業補助制度とはどのような制度なのか。また、これまでの制度の活用実績は。

答 違法駐車や迷惑駐車などで、生活環境に著しい支障が出ている地区の駐車場設置を支援する制度である。平成20年度以降、活用実績はない。

加藤 幹樹 議員

地区駐車場設置事業補助制度の廃止を含めた見直しを—今後の補助制度の在り方は、状況を見極め判断していく—

問 地区駐車場設置事業補助制度とはどのような制度なのか。また、これまでの制度の活用実績は。

答 補助要件の緩和、見直しにより活用できる制度にするか、もしくは、制度自体の廃止を検討するべきではないか。

問 違法駐車や迷惑駐車などで、生活環境に著しい支障が出ている地区の駐車場設置を支援する制度である。平成20年度以降、活用実績はない。

答 民間事業者による駐車場の設置も増えるなど、以前と環境が変わってきているため、今後の補助制度の在り方については、状況を見極め判断をしている。

渡邊 妙美 議員

多職種間で連携し、地域包括ケアシステムの構築を—地域の期待に応えられるよう、さらなる連携体制の整備に努める—

問 地域包括ケアは、支援を受ける人だけでなく、支援をする人を支えるために多職種間連携が重要である。連携の場としての地域ケア会議での課題を、市はどのように解決しているか。

答 生活支援コーディネーターを通じ、多様な主体が参画する「生活支援・介護予防体制整備推進協議会」の議題として、対

問 ジェンダー平等社会の視点に立つとき、男女別の制服着用義務は、生まれ持った多様な性や個性を狭めているのではないか。防寒・防犯面からも制服の選択制や女子向けストラップス等を導入する考えはあるか。

答 服装については学校と家庭が十分に協議する必要がある。他市や他県の実例も参考にしている。

城内 志津 議員

児童生徒を尊重した制服・標準服への見直しを—制服・標準服は各学校と家庭で協議し決めるものと考えている—

問 小学校15校のうち6校のみが標準服を採用している。一式着用や靴下やゴムの色まで規定している学校もある。標準服の自由化や行き過ぎている点の改善をすべきではないか。

答 標準服は強制ではなく、あくまでも各学校でPTA等と協議して決めている。保護者には学校側と御相談いただきたい。

伊藤 幸弘 議員

産業の持続的成長を促す革新的な取組を—企業が進出しやすいよう、日本一安心安全なまちづくりを推進する—

問 自動車産業の変革を受け、新たな分野の産業誘致を視野に、雇用創出する「地域経済活性化施策」についての考えは。

答 刈谷市の中小企業の課題である人手不足や人材育成にも対応しつつ、需要の高い工業用地の創出などに取り組む。

問 超高速通信システム5Gにより、社会や暮らしの大変革が予想されるが、市の認識は。

答 将来を見据え、デジタル技術の急激な進展に対応しながら、より高度なものづくり技術の創造などを支援する必要がある。また、市内企業自らが技術

外山 鉦一 議員

「ごみ減量」に向けた取組を—市民・事業者・市が一体となり、ごみの減量化を推進する—

問 平成29年度の本市の一人一日当たりの「ごみ総排出量」は県平均より81グラム多い。家庭系ごみは約4%減、事業系ごみは約6%増となっているが、一人当たりのごみ処理関連費用は。

答 平成30年度は1万4,355円である。

問 6年間で約3億600万円増えている。増加に歯止めをかけるためにも全市民挙げて取り組む時期に来ている。市が中心となり「ごみにしない」協力を求め、導き、取り組むことが望まれる。地域、各種団体への

協働要請は。

答 「530」運動の依頼や支援、また出前講座に取り組んでいる。

葛原 祐季 議員

スマホ決済の利用が増えるなか、新しい納税方法としての検討を—導入している自治体の状況、費用対効果等も鑑みて検討する—

問 市民税等の納税に際し、近隣自治体がクレジットカードを用いた納付を導入している。クレジットカード納付をどう考えるか。

答 システム改修費が約2,000万円かかることやクレジット納付を導入している自治体の利用割合が数%と低い状況であることを認識している。引き続き調査研究を進め、効果的な導入を検討する。

山本 シモ子 議員

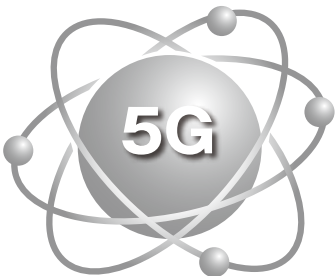
中学校の職場体験学習先に自衛隊があることの見直しを—子供と保護者が相談して決めており、その判断を尊重したい—

問 少人数学級の実施の試算はしているのか。

答 仮に、令和元年度小中学校全ての学年で35人学級を実施すると、現在の学級数から32学級増加することになる。その場合、他の目的で使用している教室で対応しても、教室が不足するとともに、別に教員を雇用する必要も出てくる。

問 中学校の職場体験学習先に自衛隊を入れているが、見直しが図られているのか。また、令和元年度の実績は。

答 中学校の職場体験学習先に自衛隊を選んだ子供は9名である。体験先は、子供と保護者が相談して決めたことであり、その判断、意思を尊重していきたいと考えている。



より高度な技術の創造などを支援し 成長し続けるまちづくりを



市民一人一人が、「ごみにしない」取組を(530運動の様子)



### 白土 美恵子 議員

(主な答弁者・・・次世代育成部長)

#### 多胎家庭への充実した支援を

―産後ヘルパー派遣事業などを拡充し、負担軽減を図る―

**問** 4月からスタートする多胎家庭支援事業の内容は。

**答** 多胎家庭の経済的負担を軽減し、子育て支援の充実を図ることを目的とした事業である。

**問** 1歳を迎えた多胎児を養育している家庭を対象に、多胎児の第2子以降一人につき3万6,000円を支給するものである。

**問** 出産前後から始まる日常生活の負担を軽減するための生活支援も重要と考えるが対応は。

**答** ホームヘルパーを家庭に派遣し、出産後の生活を支援する産後ヘルパー派遣事業について、多胎家庭に対しては、利用



安心して子育てできるようにサポートします

### 鈴木 絹男 議員

(主な答弁者・・・産業環境部長)

#### 県が進めるステーションAのサテライト誘致を

―愛知県と連携を取りながら調査研究を進めていく―

**問** 県が進める「あいちスタートアップ戦略」において、企業の中核支援拠点「ステーションA」の整備のほか、各地域にサテライト拠点を検討している。

**答** ホームヘルパーを家庭に派遣し、出産後の生活を支援する産後ヘルパー派遣事業について、多胎家庭に対しては、利用

うな働きかけをしていくのか。

**答** 定期的に連絡を取り、県の考え方や情報を得ながら連携を取っていく。



日本や世界をリードしていくために県が進める「あいちスタートアップ戦略」(ロゴマーク)

### 星野 雅春 議員

(主な答弁者・・・産業環境部長)

#### 清掃センター移転に伴う跡地の方法は

―移転整備と合わせて検討していく―

**問** 清掃センターは老朽化による移転とのことだが、跡地について昭和45年以前の既存宅地であれば都市計画法の許可

を受けずに市街化調整区域での建築が可能となるが、現在の敷地はどうか。また跡地の利用は何か考えているか。

**答** 敷地の一部については、45年以前からごみ処理等の事務所が建っており、既存宅地の可能性はある。しかし、登記簿法上は、52年に田から宅地への地目変更がされていることや、当日変更がされていることや、当

### 中嶋 祥元 議員

(主な答弁者・・・産業環境部長)

#### スマートシティを目指した取組を

―新技術を取り入れた施策を積極的に推進する―

**問** 人口増加、産業の発展により、CO<sub>2</sub>の発生量は増加するが、対策をどう考えているか。

**答** 市民、事業者、行政の連携を深め、協働を推進する。また、環境教育を充実させ、市民への啓発においては、時代に合った情報発信ツールを活用する。

**問** 貨物車を除いた公用車165台に対する環境対策は。

### 深谷 英貴 議員

(主な答弁者・・・生活安全部長)

#### 自転車の交通安全対策を実施し、「安全で安心な社会の実現を」

―自転車道等の整備、自転車走行方法の周知や啓発活動を進める―

**問** 自転車の交通安全対策の方針は。

**答** 生活道路や市街地の幹線道路において、自転車利用者が自動車や歩行者と共存を図ることができる自転車走行空間の確保や自転車利用者が交通ルールを正しく理解できる交通安全教育等の充実を図る。

**問** 平成29年5月に自転車生活

### 稲垣 雅弘 議員

(主な答弁者・・・生活安全部長)

#### 次代を見据え、元気・笑顔・希望の持てるまちづくりの実現を

―様々な立場の方に寄り添った施策を実施―

**問** 市長が掲げる「元気・笑顔・希望のまちづくり」の実現に向け、各種施策がバランスよく当初予算の中に盛り込まれている。地域活動政策において、防災力を高めるためには、地域

防災活動への支援の充実が重要と考えるが、市の見解は。

**答** 最近、各地区の防災訓練を通じて、避難所の開設及び運

時の証明資料が少ないことから、現段階では既存宅地と判断することは難しいと考える。跡地の利活用については、移転新築の整備と合わせて検討していきたい。

**答** 低公害車を21台導入している。

**問** 家庭用蓄電池、PHV、FCVなどは、災害時の電力確保に有効だが、さらなる導入促進の考えは。

**答** 省エネ、創エネをさらに普及させる。また、水素エネルギーなどの次世代エネルギー利用も検討していく。

用の総合的かつ計画的な施策の推進を図るため、自転車道の整備などの基本方針が定められた。方針を踏まえ、国、県が交通安全の確保を図りつつ、自転車の利用を増進する「自転車活用推進計画」を策定したが、刈谷市の策定状況は。

**答** 方針との整合を図り、2年度から2か年かけて策定する。

営についての問題点が洗い出されている。そのなかで、避難所におけるトイレ不足と防災行政無線の設置場所についても挙げられており、現在進めている避難所へのマンホールトイレの整備拡充と、令和2年度に実施予定の防災行政無線の更新により、これらの問題の解決を図っていく。

## 議会トピックス

### 議員研修で公職選挙法を学ぶ(2月4日)

弁護士の高岡宏樹氏をお招きし、「公職選挙法と議員活動」について御講演いただきました。

講演では、議員活動と公職選挙法との関わりについて、多発する災害やICT化などの社会の変化に応じて気を付けなければならない行動を再認識することができました。今後も市民の皆様信頼される議会を目指してまいります。



法律を正しく理解し活動を

### 新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した議会運営

今定例会中に、日本国内においても、新型コロナウイルスの感染拡大が確認されました。本市議会では、3月13日に臨時の議会運営委員会を開催し、市民生活に密接に関わる令和2年度当初予算議案をはじめ各議案の採決に影響が出ることを防ぐため、本市議会最終日を5日繰り上げ、3月18日にすることとしました。

また、議場や傍聴席出入口への手指消毒液の設置や議員による不急の質問自粛などの取組を実施したほか、傍聴者には、安全を守るため、隣席と距離を空けて傍聴するなど配慮をしていただきました。市民の皆様御理解、御協力に感謝いたします。

### 編集後記

◆皆様がこの市議会だよりを手にする頃は、新年度から1か月が経ち、新しい環境で生活を始めた方も少しずつ慣れ、新たな人間関係も構築され始めた頃ではないでしょうか。

◆現在、新型コロナウイルスの感染拡大により、様々な問題が発生しています。そんなときだからこそ、今回の表紙の写真は、「前を向いてみんなで進んで行こう」の想いを込め、入学式での前向きで明るい写真を採用しました。そして、今年刈谷市制施行70周年です。ロゴマークは、明るい未来へ向かう刈谷をイメージしています。

◆3月定例会は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、市議会としても様々な対応をしつつ、令和2年度予算など『日本一 安心安全なまち刈谷』の実現に向けた施策についての審議が行われました。今後は、計画どおりに事業が遂行されていくかをしっかりとチェックしてまいります。

◆議会広報委員会では、「市議会だより」が市民の皆様と議会をつなぐ「かけはし」の役割を果たせるよう、さらなる紙面の充実を目指しています。皆様市議会を知っていただくために今後も改善を進めてまいりますのでよろしくお願いたします。

(議会広報委員会)